

# 大型重量加工ワーク芯出し治具の決定版！

“マジカル・スライド”コンパクト

# “芯助”<sup>PAT.</sup>

段取り八分、仕事二分。  
重労働が、効率良く正確に。

ワーク自重によって装置内に発生する高圧油膜の力で軽快にスライド、  
1/100 ミリ単位で大型重量物の微調整位置決め「芯出し助っ人」参上！

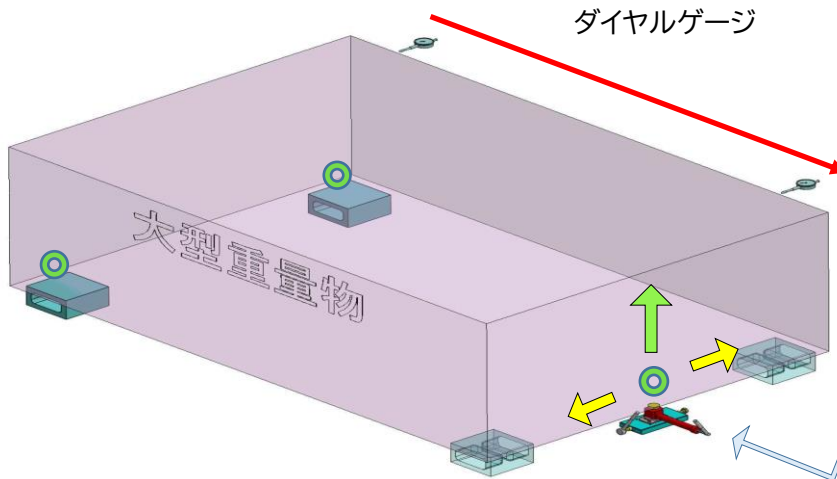


MS-10T-CT

## 【芯助の特長】

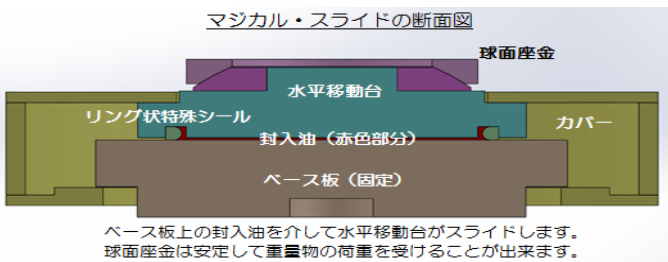
- マジカル・スライドの優れた静圧技術を活かしながらサイドジャッキを一体化させたコンパクト薄型設計。
- ユニット外形は 376 (d) x 137(w) x 45(t) mm、重量は 7.5kg。
- 熟練者の位置決め段取りを改善、ハンマー不要の標準作業へ進化。
- 支持荷重は@10ton、単独使用で約 20ton ワークを軽快スライド。
- 0.01mm 単位で正確な微調整、ワーク加工ロスや手戻り作業を予防。
- サイドジャッキの移動は直線方向、移動量はレンジで 30mm (中心から±15 mm)。
- 粗加工前のワーク用には球面座金をオプション提供。

## 大型重量ワーク 3点支持による芯出し作業手順



「芯助」の上に市販の油圧ジャッキを載せワーク下に設置。油圧ジャッキでワーク荷重を支持した後、サイドジャッキのネジを回せば簡単にスライド。

1. 屋内クレーンで大型重量加工ワークを正直台(4点)に仮置きします。
2. 正直台の上でレベル出しを済ませます。
3. 作業前に、右上写真のように芯助と市販の油圧ジャッキを準備します。
4. 芯助をワーク下に設置し、その上に油圧ジャッキをのせます。
5. ワークを油圧ジャッキで僅かに持ち上げて芯助と合わせて3点で支えます(→●)。
6. 芯助内の油膜に浮いた状態となりサイドジャッキを回せば軽快にスライドします(→)。
7. この際ダイヤルゲージを走らせると1/100ミリの微調整が行なえます(→)。
8. 作業後ワークを正直台へ下ろす前にサイドジャッキ・ネジを緩めて下さい。



ベース板上の封入油を介して水平移動台がスライドします。球面座金は安定して重量物の荷重を受けることができます。

左図はマジカル・スライドの断面構造です。封入された油が高圧油膜となり重量ワークを「ラチェット1本」で軽々とスライドさせます。

### 製品基本仕様

品名	芯助
型式	MS-10T-CT
支持荷重	10 ton(100KN) 単体
スライド量	±15mm(レンジ:30mm)
移動方向	直線方向 (原点復帰機能ナシ)
本体重量	7.5kg/個
本体寸法	376mm x 137mm x 45mm
本体構成	本体サイドジャッキ一体ユニット
オプション	球面座金
他の型式	マジカル・スライド10ト MS-10T-ST マジカル・スライド25ト MS-25T-ST マジカル・スライド25ト MS-25T-AC
お願い	40℃以下の環境でご使用下さい。

特許取得済

### お問い合わせ先

#### 【販売店】

#### 【発売元】

ニューリー株式会社  
〒613-0031  
京都府久世郡久御山町佐古外屋敷125  
Tel:0774-46-7590 Fax:0774-43-1762  
<https://www.newly.co.jp>  
【開発・製造】(有)ニューリー研究所